

うま 午年に馬のはにわがお出むかえ

— 太田出土の馬形埴輪 20 体が大集合 —

令和 8 年は午年です。私たちは古代から午（馬）と深い関わりを持ってきました。群馬県が群れる馬の県とされたのも、馬と深い関わりがあったからと考えられます。

馬は古墳時代のはじめころ、朝鮮半島から日本へ伝わりました。古墳時代後期には、群馬県の多くの地域で馬形埴輪が出土し、当時の群馬で馬が重要な生き物であったことがわかっています。特に太田市では優れた馬形埴輪が多く出土しています。馬形埴輪は、次の飛鳥時代には作られなくなりますが、東山道駅路という大きな道が造られ、馬による輸送や移動が頻繁に行われたと考えられます。

本企画展では、太田市の古墳から出土した馬形埴輪 20 体や馬に関わる資料を展示することで、私たちと馬との強い関わりを探ります。

主な展示資料（ほかにも多くの馬形埴輪がお出むかえします）



高林西原古墳群出土



世良田諏訪下遺跡出土



世良田諏訪下遺跡出土



西長岡東山古墳群出土



オクマン山古墳出土

講演会

12月6日（土） 13:30 ～ 15:00

右島和夫 先生（前群馬県立歴史博物館特別館長）

「東国はにわの世界 — 東毛地域の馬形はにわの検討を通して —」

※先着 70 名、11/18 よりお申し込みをお受けします。

展示説明

（当館学芸員）

1月10日（土） 13:00 ～ 14:00 ①「太田の馬形埴輪の特徴」

2月7日（土） 13:00 ～ 14:00 ②「馬形埴輪から東山道駅路へ」

※先着 30 名、お申し込み不要です。

太田市立 新田荘歴史資料館

太田市世良田町 3113-9 0276 (52) 2215